

TOSHIBA

抗菌ガラスキット 取付説明書

形名 TCB-AG1U

日本国内専用品
Use only in Japan



EB29662301

このたびは「抗菌ガラスキット」をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
取付工事に際してはこの説明書をよく読み、正しく取付けを行われますようお願いいたします。

安全上のご注意

●お使いになる人や他の人への危害、財産への損傷を未然に防止するための安全に関する重大な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明



警告

“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことが想定される内容”を示します。



注意

“取扱いを誤った場合、使用者が軽傷（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定される内容”を示します。

- * 1: 重傷とは、失明やけが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
* 2: 軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。
* 3: 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明



○は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。



●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。



△は、注意を示します。
具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

警告

- 取付けは、販売店または専門業者に依頼する
ご自分で据付工事をされると、水もれや感電・火災の原因になります。
- 取付工事は、この取付説明書に従って確実に行う
据付けに不備があると、水もれや感電・火災の原因になります。
- 取付作業時は電源ブレーカを切る
感電の原因になります。

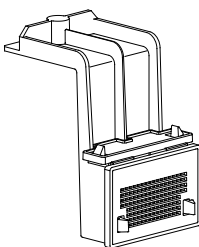
- 製品の改造、部品の変更は行わない
水もれや感電・火災の原因になります。

注意

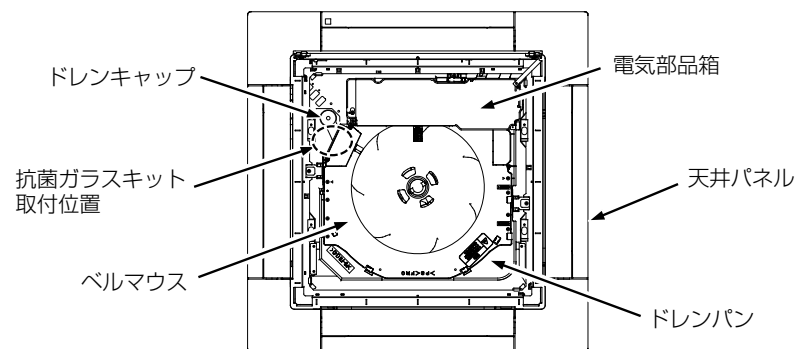
- 取付作業のときは、手袋（※）を着用する
着用しないと部品などにより、けがをする原因となります。
（※軍手などの厚手の手袋）

構成部品

下表の部品が揃っていることを確認してください。

No.	部品名	個数
①	抗菌ガラスキット 	1
②	ねじ (M4x10L)	1
③	取付説明書（本紙）	1

取付位置



- ・天井パネル・ドレンパンは、はずしません。
- ・電気部品箱・ベルマウスは、はずする必要があります。

1. 電気部品箱カバーを開ける

1. 吸込グリルを開きます。
2. 電源ブレーカを切ります。
3. 電気部品箱のねじ A をゆるめます。
4. 電気部品箱カバーを内側にスライドさせて引掛部ははずします。
（電気部品箱カバーはヒンジに引っ掛けたままとなります。）

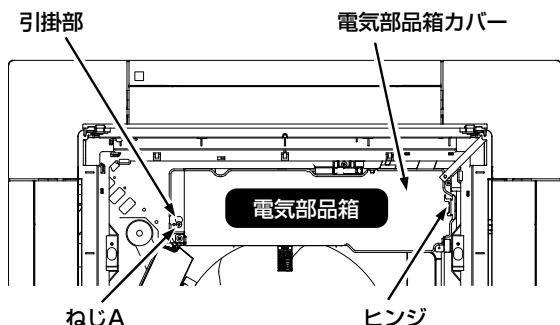


図 1

2. 電気部品箱をはずす

1. 電気部品箱から外につながっている配線のコネクタをすべてはずします。
2. 電気部品箱を固定しているねじ（板金用ねじ 2 本、樹脂用ねじ 2 本）をはずし、電気部品箱ははずします。

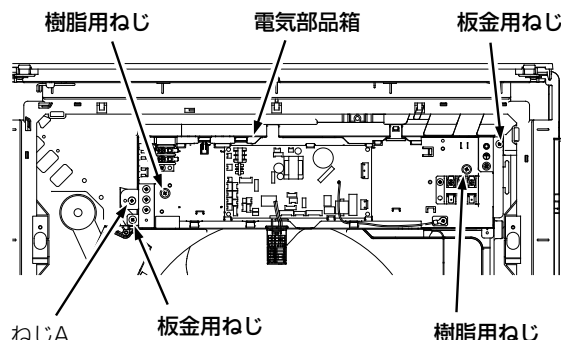
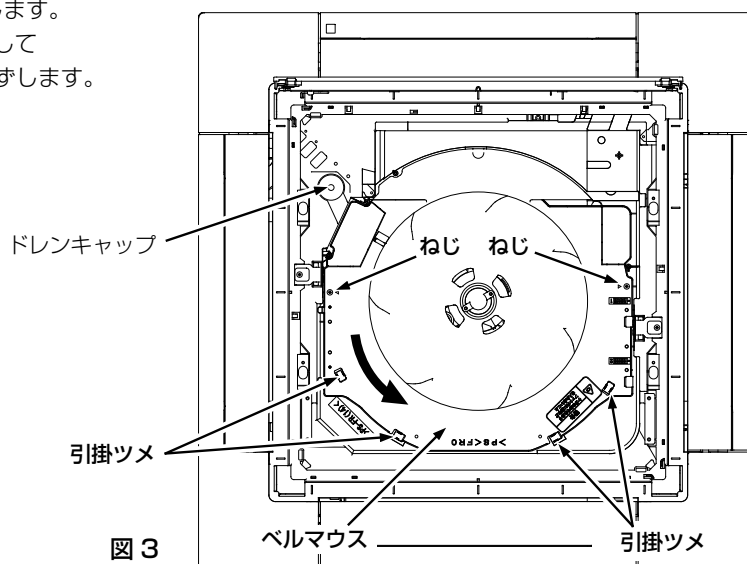


図 2

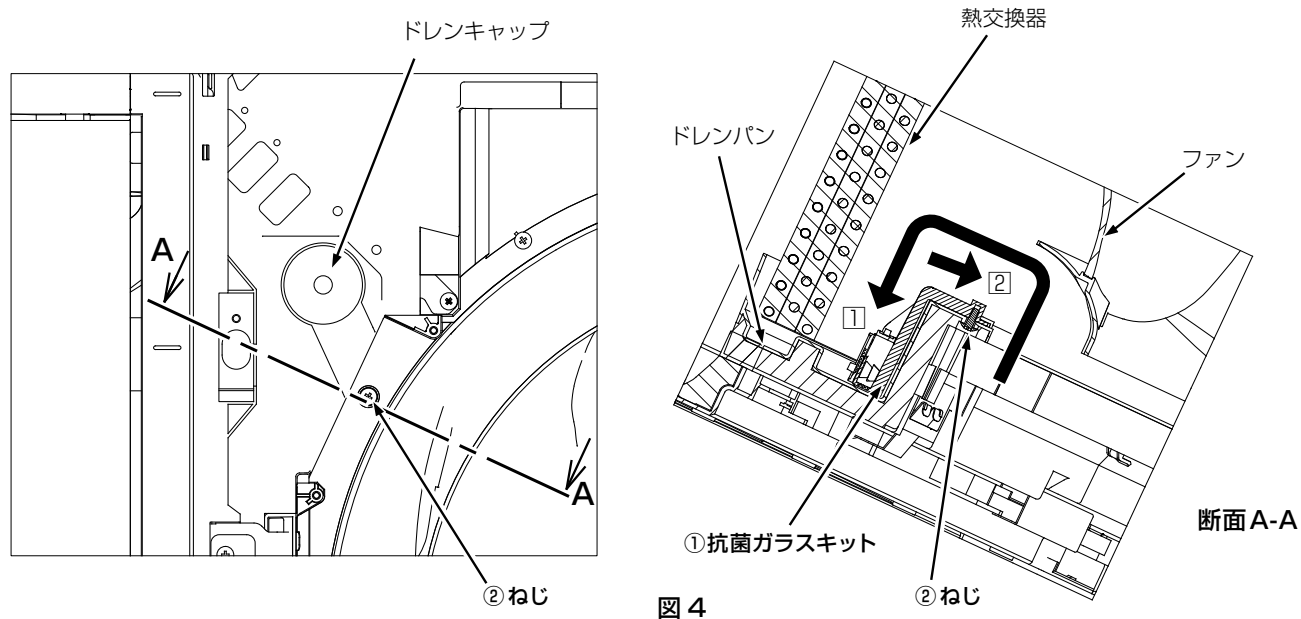
3. ベルマウスをはずす

1. ベルマウスを固定しているねじ (2 本) をはずします。
2. ベルマウスを左回り (図3の矢印方向) に動かして
4 カ所の引掛ツメからはずし、ベルマウス をはずします。



4. 抗菌ガラスキットを取り付ける

1. 古い抗菌ガラスキットが取り付けられている場合は、ねじをはずして取り出します。
2. ドレンパン内に新しい① 抗菌ガラスキットを入れます。
① ドレンパン内に入れる。
② ファン側にスライドさせる。
3. ドレンパンの下側から② ねじで固定します。



5. はずした部品を元に戻す

1. ベルマウスをはずしたときとは逆の手順で取り付けます。
4カ所の引掛ツメに確実に掛かっていることを確認し、ねじ (2 本) で固定してください。(「3. ベルマウスをはずす」参照)
2. 電気部品箱をはずしたときとは逆の手順で取り付け、ねじ (板金用ねじ 2 本、樹脂用ねじ 2 本) で固定します。
板金用ねじと樹脂用ねじの取付箇所を間違えないように注意してください。(「2. 電気部品箱をはずす」参照)
3. はずしたコネクタを元に戻し、配線処理を行います。
4. 電気部品箱カバーを元通りに閉じ、ねじAを締めます。(「1. 電気部品箱カバーを開ける」参照)
5. 電源ブレーカを入れてください。
6. 吸込グリルを閉じます。